Panasonic

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

気調換気扇　工事説明書

用途	居室用
品番	FY-15ZB3　FY-15ZBK3　FY-15ZBG3

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

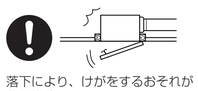
■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

■交流100ボルト以外で使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

水場使用禁止

感電や故障の原因となります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

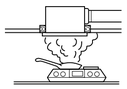
お願い

■高温（40℃以上）になる場所には取り付けないでください。

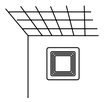
製品の変形やモーターの寿命を縮める原因となります。

■台所など油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には取り付けないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

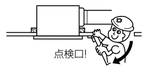


■壁面には取り付けないでください。



■点検口を設けてください。

保守点検ができません。



■次のような配管工事はしないでください。

(1)極端な曲げ

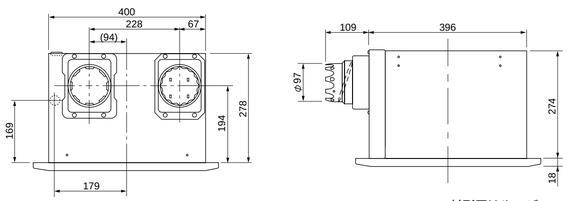
(2)吐出口のすぐそばでの曲げ

(3)多数回の曲げ

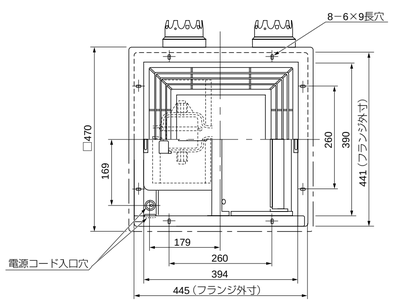
(4)接続ダクト径を小さくする。

各部の名前と寸法　お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

単位：mm



※ 外形図はルーバーFY-LZ11タイプのものです。



■付属品　末尾の数字は数量をあらわします。

トラスタッピンねじ……10

パッキン……1

取扱説明書……1
（必ずお客様にお渡しください）

■接続ダクト

呼び径	種類
φ100（4番）	塩化ビニル管（VU, VP）
	鋼板スパイラルダクト
	アルミフレキダクト

■別売品　品番など詳細についてはカタログを参照してください。

ルーバー

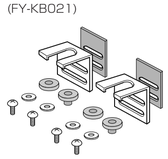
FY-LZ11タイプ

FY-LZ16タイプ

FY-LZ21タイプ

スイッチ
(FY-SV11W)

吊り金具セット（2セット）
(FY-KB021)

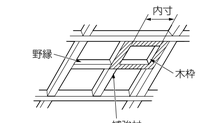


施工方法　以下の手順にしたがって施工してください。

1-A　本体の取り付け（野縁利用の場合）

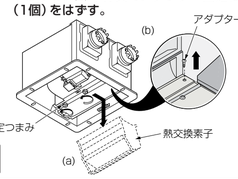
野縁の強度が不十分な場合は、吊りボルトを併用して取り付けてください。

①木枠を作り、野縁に取り付ける。

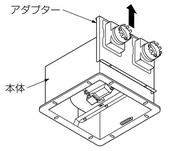


内寸	□405
木枠	約30mm角材（1寸角）

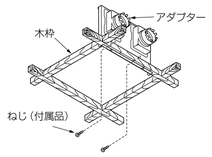
②固定つまみ（2個）をゆるめ、(a)熱交換素子をはずし、(b)本体奥のアダプター固定ねじ（1個）をはずす。



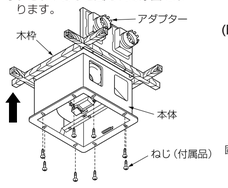
③アダプターを本体よりはずす。



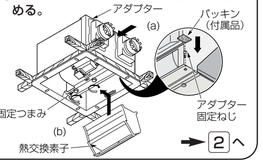
④アダプター側部を木枠の隅に合わせてねじ（2個）で取り付ける。



⑤本体を木枠内に挿入し、ねじ（8個）で取り付ける。
●すきまがあると風もれの原因になります。



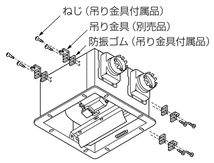
⑥(a)アダプターを矢印の方向に押しながら、本体穴とアダプター穴を合わせてアダプター固定ねじ（1個）で固定し、パッキンでアダプター固定部を覆う。
(b)熱交換素子を組み込み、固定つまみで止める。



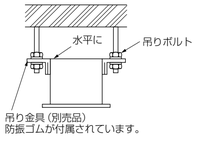
→2へ

1-B　本体の取り付け（吊りボルト利用の場合）

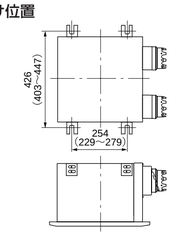
①吊り金具（別売品）をねじで取り付ける。



②本体を吊りボルト（M8〜M10）に取り付ける。



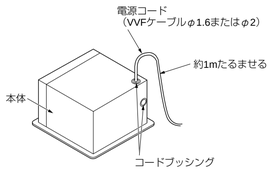
■吊り金具取り付け位置



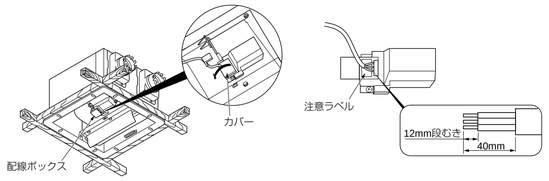
→2へ

2　電源の接続

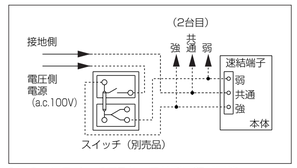
①電源コードをコードブッシングより、本体内へ入れる。



②配線ボックスのカバーを開いて、注意ラベルの表示を確認しながら結線をおこない、カバーを閉じる。



■結線図

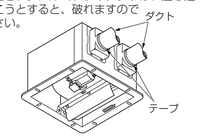


1個の電源スイッチで5台まで並列運転が可能
（スイッチにFY-SV11Wを使用した場合）

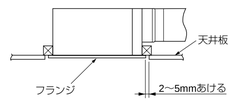
→3へ

3　ダクトの接続とルーバーの取り付け

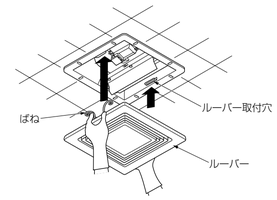
①ダクトをアダプターに差し込み、テープを巻いて固定する。
●ダクトは本体に力がかからないように、天井より吊り下げてください。アルミフレキダクトは、差し込んだあと抜こうとすると、破れますのでご注意ください。



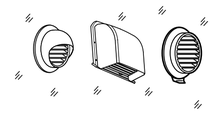
②天井板をフランジと2〜5mmのすきまを設けて貼り付ける。
●すきまがないと製品のメンテナンスができません。



③ルーバーのばねをせばめて、ルーバー取付穴に差し込んで固定する。



④外壁面には、パイプフード、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。

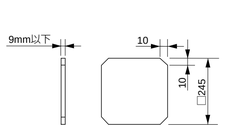


お願い

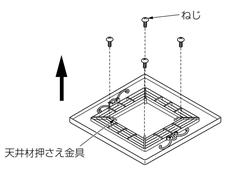
■寒冷地でご使用の時は、ダクトとアダプターに断熱材を巻いてください。
■ダクト接続は、天井材を貼る前におこなってください。

■ルーバーと天井材を合わせる場合（FY-LZ11タイプ）

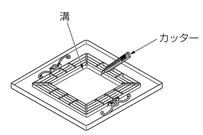
①天井材を下図の寸法に切断する。



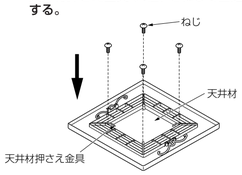
②ルーバーからねじ（4個）をはずし、天井材押さえ金具をはずす。



③溝に沿ってルーバーを切断する。



④切断した天井材を入れて②ではずした天井材押さえ金具（4個）をねじで固定する。



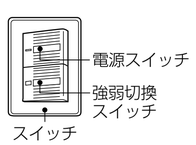
お願い

■天井材は厚さ9mm以下のものを用意してください。
■天井材は、重いもの（0.7kg以上）・割れやすいものは避けてください。

→4へ

4　試運転

結線や取り付けに異常がないか確かめる。



	電源スイッチ	強弱切換スイッチ
換気量を多くするとき	入（ランプ赤色点灯）	強
通常の換気のとき		弱
停止するとき	切（ランプ緑色点灯）	

（スイッチ品番：FY-SV11Wの場合）

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

15ZB34032C-P0906-3012